

## 2012 十勝ミニバイクレース第2戦 MK13 鎌田学杯 レースレポート

2012年8月26日(日)十勝スピードウェイ(河西郡更別字弘和477番地)において十勝ミニバイクレース第2戦 MK13 鎌田学杯が開催されました。

カテゴリーはスプリント2クラスと3時間耐久レースとなっています。

通常であればスプリントは1クラス制で改造クラスも改造していないクラスも混走となるのですが、参加台数の増加により、クラスを分けての構成となりました。

天気にも恵まれ、この時期としては暑いほどの中、鎌田学杯実行委員会の鎌田孝による挨拶から大会は開催されました。また鎌田学の母である法子さんもサーキットに足を運んでくれました。



<フリーフィング>



<予選に向かうライダー>



<実行委員会からの挨拶>

練習走行の後、予選が行われました。

レース1(S&S12クラス)の出場台数は9台と少なめでしたが、ラップタイムはこのクラスが一番速くどのチームも整備に余念がありません。

レース2(SP&NSFクラス)の出場台数は21台です。無改造クラスなので入門しやすく参加者が増えています。本州からの参加や、女性の参加もみられました。



<コース脇に設置された旗と赤塚選手>

午後からは各クラスの決勝です。

レース1(S&S12クラス)の決勝は予選1位の赤塚選手(Team-Monzaki)が予選のタイムを1秒以上も上回るファステストラップをたたきだし、堂々の優勝を飾りました。

レース2(SP&NSFクラス)は予選の順位をひっくり返した都倉選手(ハウスロッカーズ夢組かるがも紅)が優勝を勝ち取りました。



<接戦のレース2>

午後から3時間耐久レースが行われました。

参加台数は17台です。こちらは混走となっています。1周を1分程度で周回しますので3時間となると150周を超えてきます。ライダーは交代でつとめるのですが、今回は一人で走りきった選手もありました。タイム的に優勝候補とされていたTeam-Monzakiが度重なるマシントラブルに見舞われ、コースに復帰するたびに順位を上げるなどレースは盛り上がりを見せました。

<3時間耐久スタート前>

すべてのレースが終了した後に表彰式が行われました。

各協賛企業様から提供して頂いた数々の品は上位入賞者のみならず、参加賞としてライダー全員に、また鎌田学の母、法子さんとのじゃんけん大会を行い、チーム員、その家族にまで行き渡り、子供達にもとても喜んでもらえました。





<レース1表彰式>



<じゃんけん大会>

レース上位入賞者の他にも、特別賞としてMK13杯にちなみ13位、北海道を代表するライダー武石伸也選手が今年の鈴鹿8時間耐久レースで12位だった事にちなみチームサバダー賞が12位、また女性ライダー、一人で3時間走りきった2名にも賞が設けられました。

完走したライダー、トラブルに見舞われたライダー、またそれを取り巻くチーム員や家族達。レースは楽しい、サーキットは楽しいところだと、皆でなにかを一緒にする事、そういった一連の事が笑顔で行われた事がまさしくこのMK13鎌田学杯の目指すところであり、それを垣間見る事ができた事を本当によかったと思いました。



<賞品の数々>



<レース2表彰台>



<女性ライダー>



<閉会挨拶>



皆様のご参加、ご協力、心から感謝し、また来年も笑顔でお待ちしております。

MK13 鎌田学杯公式ホームページ <http://mk-13.com/>  
情報は順次掲載させていただきます。